



災害に備える

6月は土砂災害防止月間です

土石流、地すべり、がけ崩れなど土砂災害のほとんどは、長雨や大雨が引き金となって起こります。また、近い将来発生する可能性が高い南海地震など大規模地震でも土砂災害が発生する恐れがあります。万が一に備え、家の周辺にある危険箇所を確認し、災害に備えて避難場所・避難経路について、日頃から家族や近所の方と話し合っておくことが大切です。

土石流

谷や斜面に貯まった土・砂・石などが、梅雨や台風などの集中豪雨による水と一緒に流れて、一気に流れ出してくるのが土石流です。破壊力が大きく速度も速いため、大きな被害をもたらします。

(前兆)

- ・山鳴りがする。
- ・雨が降り続けているのに、川の水位が下がる。
- ・川の流れが濁ったり、流木が混ざりはじめる。

地すべり

比較的緩やかな斜面において、地中の粘土層など滑りやすい面が地下水などの影響などでゆっくりと動き出す現象を地すべりといいます。一度に広い範囲が動くため、ひとたび発生すると住宅、道路、鉄道、耕地などに大きな被害を及ぼし、川をせき止めて洪水などを引き起こすことがあります。

(前兆)

- ・地面にひび割れができる。
- ・沢や井戸の水が濁る。
- ・斜面から水が噴出す。

がけ崩れ

地面にしみこんだ水が土の抵抗力を弱め、弱くなった斜面が突然崩れ落ちるのががけ崩れです。突発的に起こり瞬時に崩れ落ちるので、逃げ遅れる人も多く、死者の割合も高くなっています。また、地震をきっかけに起こることもあ